

4 岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、津波により多くの方々が犠牲となったが、岩手県釜石市では、市内約3,000人の児童生徒のほとんどが津波から逃れ無事であったことから「釜石の奇跡」と呼ばれている。これを契機に、「鉄は熱いうちに打て」とのことわざもあるように、防災に関する教育も幼年期から始め、火に対するしつけや地震に対する対応力などを身につけることが必要である。

そうしたことから、本市においても幼年期から、正しい火の取扱いや消防の仕事を学ぶことで、火遊び等による火災の減少を図るとともに将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的に、平成26年4月1日、岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会並びに各保育園・幼稚園において幼年消防クラブが結成され、平成26年5月16日には78幼年消防クラブを結集した岡崎市幼年消防クラブ（C F C）が発足した。

現在、防火作品作成、消防庁舎見学及びその他の活動を通じて火災予防への関心を高めるとともに、実災害に対応できるクラブ員を育成している。



幼年消防クラブ

令和4年4月1日

区 分	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
公立保育園	34	3,398人
私立保育園	18	2,113人
公立こども園	3	403人
私立幼稚園	22	4,486人
合計	77	10,400人